

第127回:トルコ、トルキスタン、そして中国

国内外の経済が安定していたころの金融商品は単純で、預金・国債・株式の組み合わせで十分だった。もし海外の金融商品に興味があれば、米国を主にして、中国のような新興国をちよっぴり組み合わせれば、それで良かった。ところが世界経済が不透明感を増す時代に入ると、世界中の過剰流動性が行き場を失い、米国国債、日本円、石油や金(ゴールド)等の間を右往左往するようになる。世界の運用機関も知恵を絞り、必死になって機関投資家や個人投資家に向けた投資商品開発を急いでいる。

証券マンも大変だ。例えば韓国の金融機関が発行するブラジルリアル建債券、こんな複雑な仕組み商品をお客様に対し理解しやすく且つ誤解なきよう説明するのは大変である。金利と為替のトレードオフ関係に、債券の流動性、カントリーリスクや格付け等のポイントをしっかり押さえておかないと、適合性の原則に則った説明は難しいだろう。

最近では新興国の成長性と、日本円の為替レートに着目した新興国商品が数多く市場に登場しているようで、証券各社のウィンドーで広告パンフレットをよく見かけるが、もし筆者が営業マンであれば、頑張れ！と応援したくなる国の商品を売りたいものだ。あくまで個人的意見だが中国は別格官幣大社として、やはり将来性が見込め且つ日本との関係が良好な親日国や地域、例えばインド、トルコ、台湾、インドネシアといったところが好ましい。絶対イヤなのが二カ国あり、その筆頭はロシアだ。ラテンの影響を残す南米諸国に一抹の不安はあるが、日本と縁の深いブラジルは良いとしよう。南アは資源大陸アフリカの代表選手であることが最大の売りだ。実はこの国、中国との縁が深く、南アの将来は中国次第という側面もある。

話題が百年遡る。日清戦争の始まる4年前の1890年、約600名の軍人を乗せたオスマントルコ帝国の艦艦エルトゥールル号が横浜に到着した。一行は明治天皇の謁見を賜わり、日本各地で大歓迎を受けた後、3カ月後に帰国することになった。出港日の直前、海軍は台風が接近しつつあるため出港の延期を勧めたが、旅路を急ぐエルトゥールル号は予定通り出港した。ところが運悪く同号は和歌山串本近海で台風に遭遇して岩礁に衝突、全長70メートルの同号は真っ二つに折れて沈没した。海難事故発生の際に接した対岸の大島村では全50戸、400人の村民が総出で救助にあたり、69人の乗組員を救助し、村中の食糧を供出して手厚く保護し遺体も手厚く葬った。69名の生存者は、その後海軍の練習艦二隻で送り届けられ、そのとき「比叡」乗組士官のなかに少尉候補生時代の秋山真之も含まれていた。これが日土両国の友情の始まりで、10数年後に日露戦争が始まると、トルコ人は日本の勝利を祈った。トルコにとって露土戦争でルーマニアやセルビアを奪ったロシアは不倶戴天の敵であり、日本の戦捷に全トルコ人は熱狂した。

それから80年経った1985年3月、イランイラク戦争でイラク政府は「イラン上空を飛ぶ全ての飛行機を攻撃対象とする」という声明を発表した。猶予時間は48時間しかなく、当時イラン在住の300名の日本人はこの声明に飛び上り、国外脱出を求め一斉に空港に殺到した。ところが空港は海外脱出を求める世界各国の人でごった返しており、各国のフライトが次々に欠航となるなか、何とか飛び立つことになったエアライン

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

1/3



も自国民を優先登場させ、日本人たちは窮地に陥った。日本政府は対応に追われたが日本の某ナショナルフラッグは怖気づき救出に向かわなかった。

この土壇場で日本人を救出すべく空襲警報が鳴り響くテヘラン空港に降り立ったのがトルコ航空機であった。二機のボーイング727は日本人全員を優先的に収容した上で、余った席にトルコ人を乗せてアンカラに飛び立った。このときイラン駐節の日本大使とトルコ大使との折衝や、イスタンブールに駐在する総合商社のトルコ政府への働きかけ等があったようだが、トルコ航空のクルーが志願して救出作戦に参加した背景には、今こそエルトゥールル号事故の恩返しをする時だという熱い思いがあったのである。

それから更に5年後の湾岸戦争。イラクのサダムフセイン大統領が在留邦人を人質にとったとき、当時の国会議員アントニオ猪木が提案した奇策を外務省が嫌い、日本の航空会社はチャーター便の派遣を拒否した。そのとき猪木を助けたのがレスラー仲間のユセフトルコ(相手を見てワン・ツー・スリー!の速度を変えるインチキレフリー)で、ユセフトルコ氏とトルコ航空のチャーター便のお陰で猪木は人質奪還に成功する。

世界の覇者は16世紀のスペインから始まり、17世紀のオランダ、18世紀のフランス、19世紀の英国、20世紀の米国と続き、もし21世紀の覇権国家が中国となれば、西洋による覇権史は500年で幕を閉じることになる。この西洋諸国の覇権とはキリスト教文明のイスラム文明に対する優位が確立する歴史であり、近代初の覇者はイスラムの雄オスマントルコをレバントの海戦で破ったフェリペ2世率いるスペイン王国であった。このころ極東でも似たような動きがあり、豊臣秀吉が朝鮮出兵を通じ明帝国に軍事的圧力を掛けたことが引き金になり、結果的に明は滅亡し満州民族の支配する清帝国が誕生する。かつてスペインや日本が勃興し、漢民族やトルコ民族が衰退した歴史が現代史、なにかんづく21世紀に入り急速に塗り換えられようとしている。トルコの歴史・国土・人口・民族を総合勘案すると、その潜在力は中国、インドに次ぐだろう。

トルコと中国は国境を接しているわけではない。しかし約2億人のトルコ系民族はトルコから中央アジアにかけ広く分布しており、例えば中国民族問題の火種となっている新疆ウイグル自治区は別名東トルキスタンとも呼ばれている。トルキスタンに東があるからには当然西もあり、トルコ民族が住む中央アジアの地域が即ちトルキスタンだ。西がウズベク、キルギス、カザフ、タジキスタン、トルクメニスタン、東が新疆ウイグル自治区の一部を指すのである。むかし世界史で習った突厥・狄・高車といった民族や国がトルコ世界であり、中土両国は国境を接しているわけではないが、まぎれもなく巨大な隣国同士なのである。(了)

文中の見解は全て筆者の個人的意見である。

平成24年7月4日

筆者プロフィール

杉野光男

東洋証券株式会社 主席エコノミスト

一橋大学商学部卒、三菱信託銀行(現三菱UFJ信託銀行)入社、上海華東師範大学へ留学

同行北京駐在員、上海駐在員事務所長、理事中国担当部長を経て、2007年より現職

著書 日本^の常識は中国^の非常識(時事通信社)、中国ビジネス笑劇場(光文社)等

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。

2/3



東洋証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第121号

日本証券業協会 加入

本社所在地 〒104-8678 東京都中央区八丁堀 4-7-1 TEL03-5117-1040

ご投資にあたっての注意事項

手数料等およびリスクについて

①株式の手数料等およびリスクについて

- 国内株式の売買取引には、約定代金に対して最大1.2075%(税込み)(約定代金が260,869円以下の場合、3,150円(税込み))の手数料をいただきます。国内株式を募集、売出し等により取得いただく場合には、購入対価のみをお支払いいただきます。

国内株式は、株価の変動により、元本の損失が生じるおそれがあります。

- 外国株式等の売買取引には、売買金額(現地における約定代金に現地委託手数料と税金等を買いの場合には加え、売りの場合には差し引いた額)に対して最大0.8400%(税込み)の国内取次ぎ手数料をいただきます。外国の金融商品市場等における現地手数料や税金等は、その時々々の市場状況、現地情勢等に応じて決定されますので、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

外国株式は、株価の変動および為替相場の変動等により、元本の損失が生じるおそれがあります。

②債券の手数料等およびリスクについて

- 非上場債券を募集・売出し等により取得いただく場合は、購入対価のみをお支払いいただきます。

債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、元本の損失を生じるおそれがあります。外国債券は、金利水準の変動等により価格が上下するほか、カントリーリスク及び為替相場の変動等により元本の損失が生じるおそれがあります。また、倒産等、発行会社の財務状態の悪化により元本の損失を生じるおそれがあります。

③投資信託の手数料等およびリスクについて

- 投資信託のお取引にあたっては、申込(一部の投資信託は換金)手数料をいただきます。投資信託の保有期間中に間接的に信託報酬をご負担いただきます。また、換金時に信託財産留保金を直接ご負担いただく場合があります。

投資信託は、個別の投資信託ごとに、ご負担いただく手数料等の費用やリスクの内容や性質が異なるため、本書面上その金額等をあらかじめ記載することはできません。

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とするため、当該金融商品市場における取引価格の変動や為替の変動等により基準価格が変動し、元本の損失が生じるおそれがあります。

④株価指数先物・株価指数オプション取引の手数料等およびリスクについて

- 株価指数先物取引には、約定代金に対し最大0.0840%(税込み)の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。
- 株価指数オプション取引には、約定代金、または権利行使で発生する金額に対し最大4.20%(税込み)(約定代金が2,625円に満たない場合は、2,625円(税込み))の手数料をいただきます。また、所定の委託証拠金が必要となります。

株価指数先物・株価指数オプション取引は、対象とする株価指数の変動により、委託証拠金の額を上回る損失が生じるおそれがあります。

ご投資にあたっての留意点

取引や商品ごとに手数料等およびリスクが異なりますので、当該商品等の契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、等をよくお読みください。

最終ページに重要なお知らせ「注意事項」がありますので必ずお読みください。